

令和7年3月7日
九州地方整備局

VTOL型固定翼ドローンを活用した実証実験について

～南海トラフ地震を想定した新たな被災状況調査手法（実証実験）～

- 今回、南海トラフ地震による津波被害を想定し、長距離飛行が可能なVTOL型ドローンを使用して延岡～日向間沿岸の約30kmの区間の被災状況調査のための実証実験を行います。
- VTOL型固定翼ドローンは、垂直離着陸ができ、かつ高速巡航、長距離移動できることが特長です。
- 延岡市沿岸の港湾施設、河口部、海浜、半島等の地域の状況を撮影し、得られた映像の実用性や3次元点群データの精度を検証します。
- 今回の飛行方法は、無人地帯での補助者を配置しない完全目視外飛行（レベル3.5飛行）であり、VTOL型固定翼ドローンでは、国土交通省の取り組みの中で全国初の試みとなります。
- 本実験の映像は、九州地方整備局にオンラインで配信します。

① 日時

令和7年3月13日（木） 10:00～ （予備日：3月14日）

※現地の天候により変更になる場合があります。

② 離発着場所

五ヶ瀬川河口（宮崎県延岡市方財町）

③ 取材対応箇所

- ・実証実験現場（宮崎県延岡市方財町 五ヶ瀬川河口）
- ・九州地方整備局8F防災対策室（現地映像を受信）の2箇所にて取材いただけます。

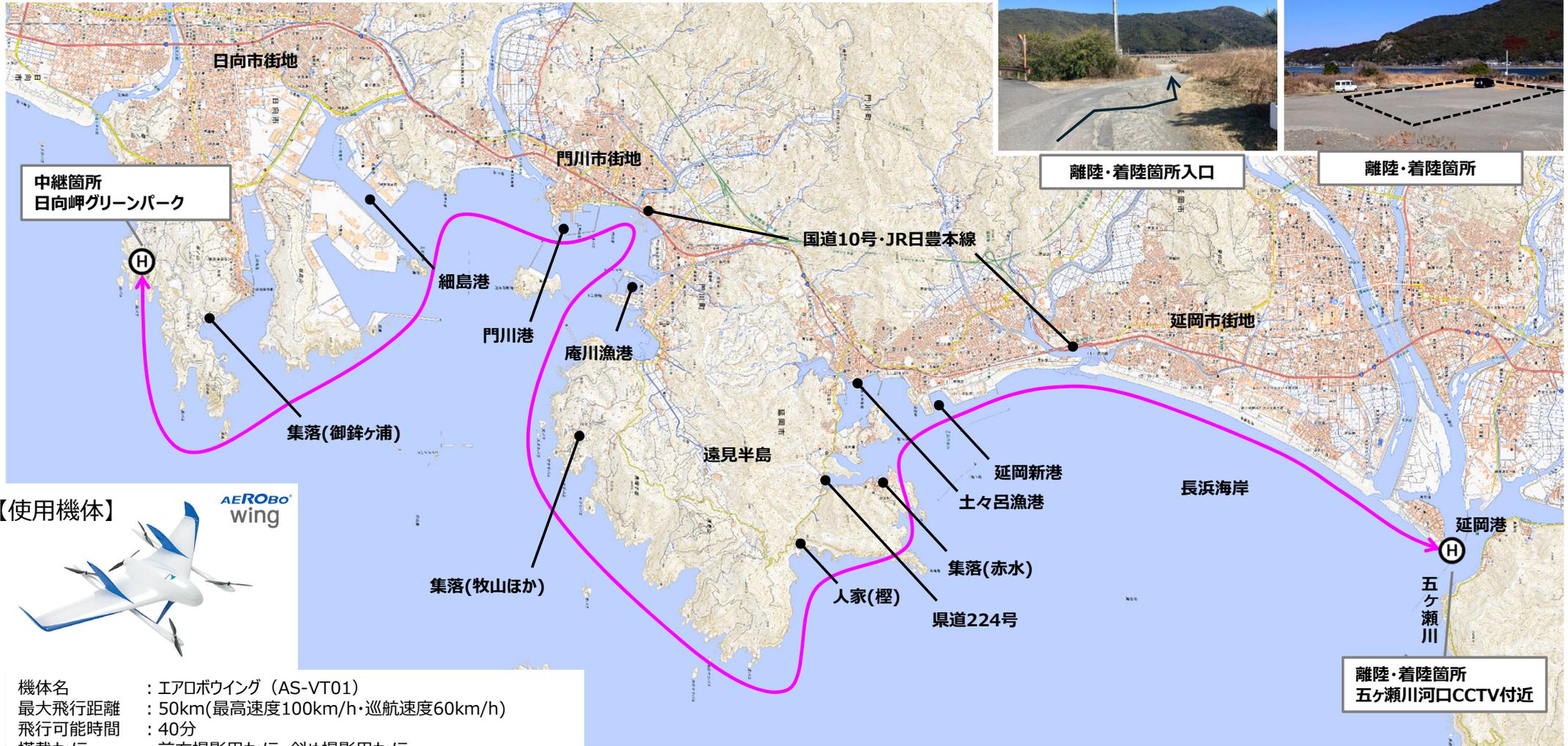
④ スケジュール（案）

9:30 受付開始
10:00 実証実験開始
11:30 実証実験終了

【問合せ先】

九州地方整備局 災害対策マネジメント室 室長 松木 厚廣（内線2181）
課長補佐 矢羽田 成巧（内線2182）
電話番号：092-471-6331（代表） 092-476-3544（直通）
FAX番号：092-476-3467

【VTOL型固定翼ドローンを活用した実証実験概要】



【使用機体】



- 機体名 : エアロボウイング (AS-VT01)
- 最大飛行距離 : 50km(最高速度100km/h・巡航速度60km/h)
- 飛行可能時間 : 40分
- 搭載カメラ : 前方撮影用カメラ、斜め撮影用カメラ
- 外形寸法 : 2150mm×1235mm×415mm(プロペラ含まず)
- 本体重量 : 9.45kg(バッテリー含む)